

S-1内服による眼症状と予防方法について

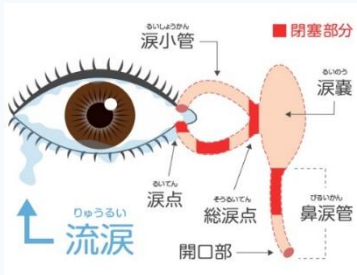
S-1（エスワンタイホウ、ティーエスワンなど）内服による眼の症状

- ・眼の充血、眼の痛み、眼が乾く
- ・物が見えにくい
- ・眼のかすみ
- ・眼ヤニがたまりやすい



【S-1内服で誘発される可能性がある眼の有害事象】

S-1（エスワンタイホウ、ティーエスワンなど）を内服する事によって、『涙道の涙小管狭窄症』と『角膜上皮障害』などの眼に対する有害事象が報告されています。これらの有害事象により『流涙症』に陥ります。症状としては下記のようなものがありますが、元々ドライアイの方は流涙症状が現れない事もあります。



【流涙症を起こす機序】

S-1による眼の有害事象についてはまだ十分には解明されていませんが下記のように考えられています。

涙小管障害は、涙液へ移行した抗がん薬（フルオロウラシル）が涙道壁に接することで、扁平上皮の肥厚と間質の線維化をきたし、狭窄や閉塞を引き起こすことが推測されています。

角膜障害は、フルオロウラシルが涙液へ分泌・移行することによる角膜への直接的障害と推測されており、この直接的障害により潰瘍が形成されます。

※ S-1薬剤名（一般名）はテガフル・ギメラシル・オテラシルカリウムと言います。フルオロウラシルはS-1の主成分です。

どうすれば予防できるの？

→点眼薬使用することで良く洗い流すことで予防効果があります。

どんな点眼薬が良いの？

→調剤薬局やドラッグストアで販売される点眼薬のうち下の3つがおすすめです。



ソフトサンティア



ウェルウォッシュアイ



ロートソフトワン

ソフトサンティアは涙液に近い性質を持った人工涙液です。

ウェルウォッシュアイは涙液に近い性質を持った点眼型洗眼液です。

ロートソフトワンは涙液に近いソフトなうるおいがある点眼液です。

ともに防腐剤（ベンザルコニウム塩化物、パラベン）無添加です。

病院で処方出来る点眼薬は防腐剤が含有しているためおすすめ出来ないのでです。

どのように使用するんですか？

→点眼方法は1回2～3滴、1日5～6回を目安に使用してください。十分な量を使用し点眼薬でしっかりと洗い流すことが大切です。

点眼前は

眼を清潔に保つため、必ず手を洗ってから実施してください。

点眼後は

眼の周りにフルオロウラシルが移行した涙や点眼液が付着している可能性がありますので、皮膚に影響しないよう洗顔してください。その際、眼をゴシゴシ擦らないようにしましょう。